

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度補正予算分) (施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野県

【基本情報】

フリガナ	シヤカイクシホウジン シモイシヤカイクシカイ
法人名	社会福祉法人 下伊那社会福祉会
フリガナ	カモリウ
事業所名	高森荘
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休・休職は除く)】	
29.5 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) マキススカイ440/イーゾートラック 2台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	5 人	474 件	5,688 件	2 分	948 人時間	38 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			474 件	5,688 件	2 分	948 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

該当利用者 支援数 M・Y様 3名/回 M・M様 2名/回
ひと月当たりの移乗回数 ①食事(朝、昼、夕) 3回/日 = 91.23/月 ②トイレ支援 6回/日 (ベット⇄車椅子、車椅子⇄ベット) 2回 × 30.41日 = 364.92/回 ③入浴 2回/週 × (ベット⇄車椅子、車椅子⇄ベット) 2回 × 4.345週 = 17.38/月 ①～③の合計 = 473.53/月

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たりの平均処理時間 移乗にかかる時間を計測

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	3 人	474 件	5,688 件	3 分	853 人時間	95 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			474 件	5,688 件	3 分	853 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

該当利用者 支援数 M・Y様 1.5名/回 M・M様 1.5名/回
ひと月当たりの移乗回数 ①食事(朝、昼、夕) 3回/日 = 91.23/月 ②トイレ支援 6回/日 (ベット⇄車椅子、車椅子⇄ベット) 2回 × 30.41日 = 364.92/回 ③入浴 2回/週 × (ベット⇄車椅子、車椅子⇄ベット) 2回 × 4.345週 = 17.38/月 ①～③の合計 = 473.53/月

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たりの平均処理時間 移乗にかかる時間を計測

年間業務時間数想定削減率(%)

10.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

<ul style="list-style-type: none">・直接、身体に触れる時間が減り利用者、支援者の肉体的、心理的な負担が軽減された。・支援、介護の選択肢が増えた。リフトや他の機器、用具を含めて利用者さんや、支援者の状況にあった支援、介護方法を選択できるようになった。・利用者様のリフトやロボット機器導入に対する理解、関心が深まってきている。普段リフトを使う必要のない利用者様から、使ってみたいとのこと声があり試用をしてもらった。・走行型リフトも導入しているが、据置型リフトは居室に設置されているため、必要な時にすぐに使うことができお待たせすることが少なくなった。
--

(5)今後の課題

<ul style="list-style-type: none">・当施設の居室環境は十分なスペースがないためリフト設置をすると、タンスや床頭台といった日常生活で使用する荷物類の置き場所が無くなってしまう。・設備上(カーテンレール)リフトを設置できない居室がある。・現在は障害の重度化と高齢化によってリフトの使用率は高くなっているが、利用者様の状況(障害が軽い方が増えたときなど)によっては、現在、稼働しているリフトの使用率が下がる可能性がある。
--

(6)気づき等について

<ul style="list-style-type: none">・利用者様の障害の状況、理解力などにより使用が難しい方がいる。 例)脊髄小脳変性症により、運動失調があるとスリングシートで釣り上げたときに動いてしまい危険だと感じた。・リフトは身体的な負担が軽減される一方で、介助する時間が長くなる傾向がある。よりスムーズに使うためには、介護技術や操作方法の向上などの取り組みが必要と感じる。・利用者様より体が楽になったとの話があった。(抱える際に利用者様、職員ともに体に力が入ってしまっていたが解消されたため。)

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--